

2022年6月28日

近鉄不動産株式会社

あべのハルカス美術館 展覧会 「幕末土佐の天才絵師 絵金」開催決定！

日本一高いビル「あべのハルカス」16階の「あべのハルカス美術館」では、日本美術や西洋美術、現代アートなど多彩な展覧会を開催しています。

2022年度後半は9月より「榎岡かずお大美術展」、12月より「アリスーへんてこりん、へんてこりんな世界」の開催を予定しています。（既報のとおり。詳細は別紙参照）上記の展覧会に続き、新たに2023年度に開催する展覧会が決定しましたのでお知らせします。

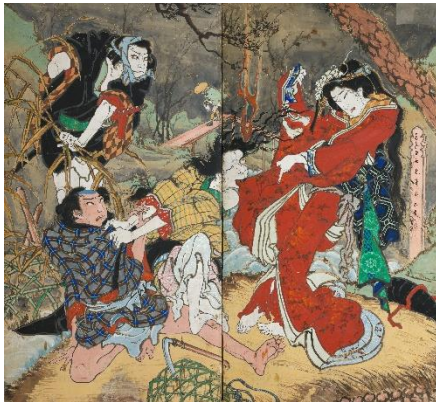
「幕末土佐の天才絵師 絵金」

会 期：2023年4月22日（土）～2023年6月18日（日）

共 催：読売新聞社

開催趣旨：謎の天才絵師とも呼ばれる土佐の絵師・金蔵は、幕末から明治初期にかけて数多くの芝居絵屏風などを残し、「絵金さん」の愛称で、地元高知で長年親しまれてきました。同時代のどの絵師とも異なる画風で描かれた屏風絵は、今も変わらず夏祭りの数日間、高知各所の神社等で飾られ、闇の中に蝋燭の灯りで浮かび上がるおどろおどろしい芝居の場面は、見るものに鮮烈な印象を残しています。

本展は、高知県外の美術館で開催する初の大規模展です。幕末の土佐に生き、異彩を放つ屏風絵・絵馬提灯などを残した「絵金」の類稀なる個性と、その魅力について、代表作の数々で紹介します。



①伊達競阿国戯場 累
二曲一隻屏風 紙本彩色
香南市赤岡町本町二区蔵



②花衣いろは縁起 鷲の段
二曲一隻屏風 紙本彩色
香南市赤岡町本町二区蔵



③浮世柄比翼稲妻 鈴ヶ森
二曲一隻屏風 紙本彩色
香南市赤岡町本町一区蔵

～ あべのハルカス美術館 2022年9月～2023年6月 展覧会ラインアップ ～

	2022年 9月	10月	11月	12月	2023年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
展覧会名	榎図かずお大美術展			アリス —へんてこりん、へんてこりんな世界—			幕末土佐の天才絵師 絵金			
会期	2022年9月17日(土) ～ 11月20日(日)			12月10日(土) ～ 2023年3月5日(日)			4月22日(土) ～ 6月18日(日)			

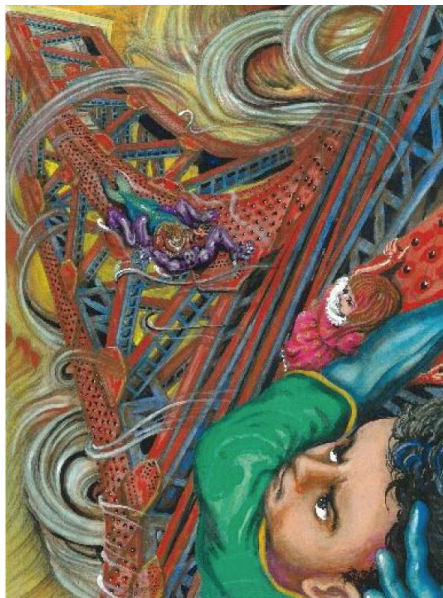
【詳細】

I. 榎図かずお大美術展

会 期 : 2022年9月17日(土)～11月20日(日)

共 催 : 読売テレビ、読売新聞社

開 催 趣 旨 : 数多くの傑出した漫画作品を世に送り出した榎図かずお。その作品には漫画という既存の分野だけでは語りきることができない先見的な世界観、幻視的なビジョンが至るところに発揮されています。本展は27年ぶりとなる新作を公開するとともに、「榎図かずおの世界」を気鋭のアーティストらによるインスタレーションで読み解こうとする今までにない展覧会です。



《ZOKU-SHINGO 小さなロボット シンゴ美術館》(部分)榎図かずお
2021年 ©榎図かずお

Ⅱ. アリスーへんてこりん、へんてこりんな世界ー

会 期：2022年12月10日（土）～2023年3月5日（日）

共 催：ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館、朝日新聞社、関西テレビ放送

開 催 趣 旨：ルイス・キャロルの『不思議の国のアリス』は、1865年に初版本が発行されて以来、今もなお世界中の人々を魅了し続けています。本展は、英国ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館(V&A)発の国際巡回展です。ジョン・テニエルの貴重な原画をはじめ、物語をモチーフにした映画やデザイン、舞台やファッションなど、約300点の作品をとおして、150年以上の長きにわたり愛され続ける『不思議の国のアリス』の魅力を紐解きます。



マッド・ハッターのお茶会でのアリス、『不思議の国のアリス』初刊行版本より、
ジョン・テニエル画、1866年、V&A内ナショナル・アート図書館蔵
© Victoria and Albert Museum, London

【アクセス】

【開館時間】

火～金： 10:00 - 20:00
月土日祝： 10:00 - 18:00
*入館は閉館30分前まで

【休館日】

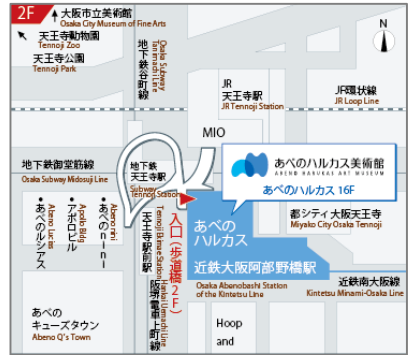
一部の月曜日、年末年始
展示替え期間(不定期)
*展覧会により休館日は異なります。

【所在地】

〒545-6016
大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 あべのハルカス16階

【最寄駅】

近鉄南大阪線「大阪阿部野橋」駅 直上
JR各線「天王寺」駅
地下鉄御堂筋線「天王寺」駅
地下鉄谷町線「天王寺」駅
阪堺上町線「天王寺駅前」駅 よりすぐ



以上